

整理番号 K-1373B (NEDO 357, 2-0067)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
1-ブロモペンタン (110-53-2)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 18. 8. 7~18.12. 8	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 標・㊟	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状 Br(CH₂)₄CH₃ 分子式 C ₅ H ₁₁ Br 分子量 151.04	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 39, 36, 34 (36)% 直接 GC 51, 47, 47 (48)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.3% (毛管カラムGC) 外観 無色透明液体			
不純物*1 (物質名, 含有率) 水 0.01% 不明成分 0.69%	溶解度 (対水, その他) 対水*2 127 mg/L (25°C) 対酢酸エチル 10g/L 以上	審査部会 第68回 19年10月26日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -95°C		判定	判定
沸点*2 129.8°C	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 3.14*3	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 91.8% (汚泥+被験物質)系 94.0% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・被験物質は水中で一部加水分解して1-ペンタノール(2-0217, K-1258E, H19.7.27(66), 良分解)を生成し、臭化物イオンを生成したと考えられる。(汚泥+被験物質)系では1-ペンタノールは分解し、被験物質の一部が残留した。 $\text{Br(CH}_2)_4\text{CH}_3 \longrightarrow \text{CH}_3(\text{CH}_2)_4\text{OH} + \text{Br}^-$ 被験物質 (残留) 1-ペンタノール (生分解) 臭化物イオン ・TOC及び1-ペンタノールの生成に伴って生成したと考えられる臭化物イオン分析については、その分析用試料を調製するために前処理において試験液を一部分取する操作が必要であった。その際、被験物質の揮発性が高く損失するため、TOC及び臭化物イオン分析は実施しなかった。	
密度*1 1.218 g/cm ³ (20°C)			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 ㊟・無			
用途*4 中間物			
生産量*4 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満			
試料 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

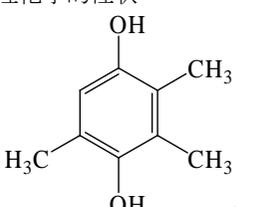
*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。 *3 Kowwin v 1.67による計算値。

*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-1373Bの類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)	
1-ブロモプロパン (106-94-5)	$\text{BrCH}_2\text{CH}_2\text{CH}_3$	2-0073 (K-1374)	標準(4W) 2002年実施 BOD 76, 86, 47 (70) HPLC 40, 42, 43 (41) 逆転(4W) (参考データ) HPLC 45, 45, 46 (45)	難分解性 (2002)	2.25 (フラスコ振とう法)		分配係数より類推	高濃縮性 ではない (2002)	
1-ブロモブタン (109-65-9)	$\text{Br}(\text{CH}_2)_3\text{CH}_3$	2-0074 (K-1009)	標準(4W) 1990年実施 BOD 35, 82, 39 (52) TOC 68, 84, 68 (73) G C 75, 100, 73 (83) 逆転(4W) 1991年実施 BOD 39, -, 13 (26) TOC 100, 100, 100 (100) G C 100, 100, 100 (100) 100/100(4W) 1993年実施 BOD 71, 82, 62 (72) TOC 90, 94, 87 (90) G C 100, 100, 95 (98)	良分解性 (1993)					
1-ブロモペンタン (110-53-2)	$\text{Br}(\text{CH}_2)_4\text{CH}_3$	2-0067 (K-1373B)	標準(4W) 2006年実施 BOD 39, 36, 34 (36) G C 51, 47, 47 (48)		3.14*				

* Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-1775 (3-0552)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
2, 3, 5-トリメチルヒドロキノン (700-13-0)		事業対象年度 平成17年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
		試験期間 18. 7. 3~19. 3. 22		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₉ H ₁₂ O ₂ 分子量 152.19		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純度*1 99.5%		外観 わずかにうすい褐色粉末		試験結果 間接		試験結果 間接	
不純物 (物質名, 含有率) 残り 0.5%は不明		溶解度 (対水, その他) 対水 1530 mg/L (20℃) (フラスコ法) 対テトラヒドロフラン 10 g/L 以上 対クロロホルム 10 g/L 以上 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対1-オクタノール 1400 mg/L 以上		試験結果 直接		試験結果 直接	
融点 測定不可(142℃以上で分解)		1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 1.71 (pH3.1 フラスコ振とう法)		審査部会 第68回 19年10月26日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
沸点 測定不可(142℃以上で分解)		加水分解性 水中で二量体等に変化したと考えられる。		判定		判定	
蒸気圧 3.52×10 ⁻⁷ Pa 以下 (25℃)		解離定数 pH2.0~8.0の領域において非解離状態で存在する。		備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		(汚泥+被験物質)系における被験物質の変化  被験物質 (消失) → 被験物質の二量体 (残留) + 不明変化物 2成分 (残留)	
密度*2 0.45 g/cm ³ (20℃)							
LD50*2 3,200mg/kg(oral, rat)							
IRチャートの有無 (有) ・ 無							
用途							
生産量							
試料 購入先 和光純薬工業 和光特級							
経済産業公報発表年月日 年 月 日							

*1 和光純薬工業添付資料による。

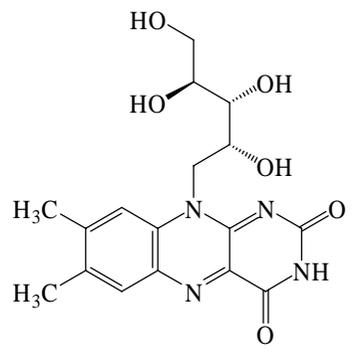
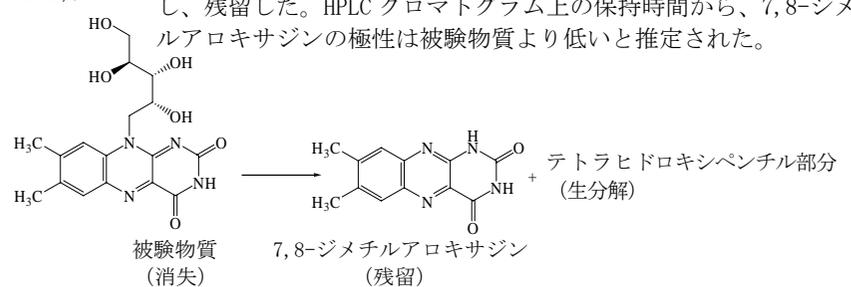
*2 International Uniform Chemical Information Database(European Chemicals Bureau)(Edition 2000)による。

*3 Kowwin v 1.67 による計算値。

K - 1775 の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2,4,6-トリメチル フェノール (527-60-6)		3-0540 4-0057 9-0899 9-1783 (K-554)	標準(4W)1981年実施 BOD 5, 5, 12 (7) TOC 1, 0, 1 (1) HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (1981)	1982年実施 2.80 (HPLC法)	14.3 (48hr)	1982年実施 1区(0.2 mg/L) : 6.5 ~ 10 2区(0.02mg/L) : <2.7 ~ 8.1 脂質含有率 4.9%	高濃縮性 ではない (1982)
2,3,6-トリメチル フェノール (2416-94-6)		4-0057 9-0899 (K-554A)	標準(4W)2001年実施 BOD 2, 0, 0 (1) TOC 5, 7, 7 (6) HPLC 6, 5, 5 (5)	難分解性 (2001)	2002年実施 2.73 (フラスコ振とう法)		分配係数から類推	高濃縮性 ではない (2002)
2,3,5-トリメチル フェノール (697-82-5)		3-0540 4-0057 9-0899 (K-1505)	標準(4W)2000年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 0, 0, 2 (1) HPLC 2, 0, 3 (2)	難分解性 (2000)				
2,3,5-トリメチル ハイドロキノン (700-13-0)		3-0552 (K-1775)	標準(4W) 2006年実施 BOD -6, -6, -7 (0)* TOC -4, -3, -5 (0)* HPLC 100, 100, 100 (100) 〔2-(2,5-ジヒドロキシ-3,4,6-トリメチルフェニル)-3,5,6-トリメチル-1,4-ベンゾキノンを生成し、残留した。〕		2006年実施 1.71 (フラスコ振とう法)			

* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

整理番号 K-1778 (NEDO 345, 9-2282)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
7,8-ジメチル-10-(D-リボ-2,3,4,5-テトラヒドロ	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
キシペンチル)-イソアロキサジン (83-88-5)	試験期間 18.12.11~19.1.31	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₁₇ H ₂₀ N ₄ O ₆ 分子量 376.36	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 19, 18, 20 (19)% 直接 HPLC 100, 100, 100(100)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 100%	外観 橙黄色粉末	審査部会 第68回 19年10月26日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物(物質名,含有率)	溶解度(対水,その他) 対水*3 84.7 mg/L(25℃)	判定	判定
融点*2 278~282℃(分解)	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = -1.05*4	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 101% (汚泥+被験物質)系 102% 2. 実施機関 ・広栄テクノ株式会社 3. 特記事項 ・被験物質は消失し、テトラヒドロキシペンチル部分は生分解されたと考えられ、7,8-ジメチルアロキサジン(log Kow = 1.86*4)を生成し、残留した。HPLCクロマトグラム上の保持時間から、7,8-ジメチルアロキサジンの極性は被験物質より低いと推定された。 	
沸点 測定不可			
密度 1.488 g/cm ³ (25℃)			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有)・無			
用途*5 添加剤(その他)			
生産量*5 (16年) 製造及び輸入 10~100 t 未滿			
試料 購入先 東京化成工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 HPLCによる。 *2 The Merck Index(13th edition)による。 *3 The Physical Properties Database(Syracuse Research Corporation)による。
 *4 Kowwin v 1.67による計算値。 *5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

整理番号 K-1791 (2-3341)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
1, 1, 3, 3-テトラメチル-2-[3-(トリメトキシシリル)プロピル]グアニジン (69709-01-9)		事業対象年度 平成18年度		契約年月日		契約年月日	
		試験期間 18. 6. 27~18. 12. 14		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 $\begin{array}{c} \text{OCH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{CO}-\text{Si}-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{N}=\text{C}-\text{N}(\text{CH}_3)_2 \\ \\ \text{OCH}_3 \end{array}$ 分子式 C ₁₁ H ₂₇ N ₃ O ₃ Si 分子量 277.44		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純度*1 99.7%		外観 無色透明液体		試験結果 間接		試験結果 間接	
不純物*1 (物質名, 含有率)		溶解度*1 (対水, その他)		試験結果 直接		試験結果 直接	
メタノール 0.1%		対水 加水分解のため測定不可		BOD 22, 22, 23 (22)%			
不明 0.2%		対アセトン 可溶		TOC 21, 22, 22 (22)%			
		対テトラヒドロフラン 可溶		被験物質分解度は算出不可*			
		対トルエン 可溶					
融点 融点は測定温度範囲 (-100~50℃) に存在しない。		1-オクタノール/水分配係数 log Kow = -0.25*2		審査部会 第68回		審査部会 第 回	
沸点 214.1℃ (大気圧)				19年10月26日開催		年 月 日開催	
蒸気圧 2.53×10 ² Pa (25℃, 外挿値)		加水分解性		審査部会 第 回		審査部会 第 回	
比重*1 1.00 (25℃)		水溶液中で速やかに加水分解されるため測定不可。		19年 月 日開催		年 月 日開催	
LD50		解離定数		判定		判定	
IRチャートの有無 (有) ・ 無		水溶液中で速やかに加水分解されるため測定不可。		判定		判定	
用途				備考		3. 特記事項	
生産量*3 (11年) 製造及び輸入 1~10 t 未満				1. ※被験物質は試験液中で速やかに加水分解し、理論量のメタノールの生成を確認した。このため被験物質の定量分析条件を確立することができず、被験物質の分析が実施できなかった。従って、被験物質の直接分析による分解度は算出不可能であった。		・ 被験物質は試験液中で完全に加水分解し、メタノール(2-0201, K-1082, H5. 2. 12(180)良分解)、1, 1, 3, 3-テトラメチル-2-[3-(トリヒドロキシシリル)プロピル]グアニジン(log Kow = -1.94*2)を生成した。	
試料				2. 実施機関		$\begin{array}{c} \text{OCH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{CO}-\text{Si}-(\text{CH}_2)_3-\text{N}=\text{C}-\text{N}(\text{CH}_3)_2 \\ \\ \text{OCH}_3 \end{array} \longrightarrow 3\text{CH}_2\text{OH} + \begin{array}{c} \text{OH} \\ \\ \text{HO}-\text{Si}-(\text{CH}_2)_3-\text{N}=\text{C}-\text{N}(\text{CH}_3)_2 \\ \\ \text{OH} \end{array}$ 被験物質(速やかに変化) メタノール(生分解) 1, 1, 3, 3-テトラメチル-2-[3-(トリヒドロキシシリル)プロピル]グアニジン(残留)	
経済産業公報発表年月日 年 月 日				・ 財団法人 化学物質評価研究機構		(汚泥+被験物質)系では、メタノールは検出されず、1, 1, 3, 3-テトラメチル-2-[3-(トリヒドロキシシリル)プロピル]グアニジンが残留した。	

*1 提供者添付資料による。

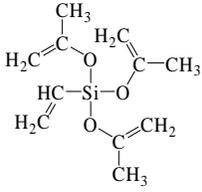
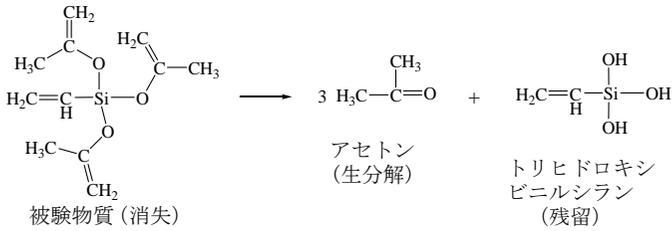
*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K - 1791の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ビニルトリメトキシシラン (2768-02-7)	$\begin{array}{c} \text{OCH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{CO}-\text{Si}-\text{CH}=\text{CH}_2 \\ \\ \text{OCH}_3 \end{array}$	2-2066 (K-1133)	標準(4W) 1999年実施 BOD 60, 56, 56 (57) TOC 59, 60, 61 (60) HPLC 100, 100, 100(100) (水中で加水分解し、ビニルトリヒドロキシシランを生成し、残留した。)	難分解性 (1999)				
3-メルカプトプロピルトリメトキシシラン (4420-74-0)	$\begin{array}{c} \text{OCH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{CO}-\text{Si}-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{SH} \\ \\ \text{OCH}_3 \end{array}$	2-2045 (K-1292)	標準(4W) 1998年実施 BOD 38, 38, 38 (38) TOC 51, 48, 52 (50) HPLC 100, 100, 100(100) (水中で加水分解し、3-メルカプトプロピルトリヒドロキシシランを生成し、残留した。)	難分解性 (1998)				
3-アミノプロピルトリエトキシシラン (919-30-2)	$\begin{array}{c} \text{OCH}_2\text{CH}_3 \\ \\ \text{CH}_3\text{CH}_2\text{O}-\text{Si}-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{NH}_2 \\ \\ \text{OCH}_2\text{CH}_3 \end{array}$	2-2061 (K-1295)	標準(4W) 2000年実施 BOD 54, 52, 55 (54) TOC 63, 64, 65 (64) (水中で速やかに加水分解し、3-アミノプロピルトリヒドロキシシランを生成し、残留した。)	難分解性 (2000)	加水分解のため 測定不可	>1000 (96hr)	2001年実施* 定常状態における濃縮倍率 1区(2 mg/L) : <0.53 2区(0.2mg/L) : <5.4 脂質含有率 開始前 1.62% 終了後 1.63%	高濃縮性 ではない (2001)
N-(2-アミノエチル)- -アミノプロピルトリメトキシシラン (1760-24-3)	$\begin{array}{c} \text{OCH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{CO}-\text{Si}-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{NHCH}_2\text{CH}_2\text{NH}_2 \\ \\ \text{OCH}_3 \end{array}$	2-2059 2-2083 (K-1134)	標準(4W) 1995年実施 BOD 23, 26, 28 (26) TOC 39, 38, 39 (38) G C 100, 100, 100(100) (水中で速やかに加水分解し、N-(アミノエチル)-アミノプロピルトリヒドロキシシランを生成し、残留した。)	難分解性 (1995)				
1,1,3,3-テトラメチル- 2-[3-(トリメトキシシリル)プロピル]グアニジン (69709-01-9)	$\begin{array}{c} \text{OCH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{CO}-\text{Si}-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{N}(\text{CH}_3)_2 \\ \\ \text{OCH}_3 \end{array}$	2-3341 (K-1791)	標準(4W) 2006年実施 BOD 22, 22, 23 (22) TOC 21, 22, 22 (22) (水中で速やかに加水分解し、1,1,3,3-テトラメチル-2-[3-(トリヒドロキシシリル)プロピル]グアニジンを生成し、残留した。)					

* 濃縮度試験のばく露は3-アミノプロピルトリヒドロキシシランで行った。

整理番号 K-1792 (2-3197)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
トリ (イソプロペニルオキシ) ビニルシラン (15332-99-7)		事業対象年度 平成18年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
		試験期間 18. 7. 12~18. 12. 8		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₁₁ H ₁₈ O ₃ Si 分子量 226.34		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純度*1 98.6%		外観 無色透明液体		試験結果 間接		試験結果 間接	
不純物*1 (物質名, 含有率)		溶解度 (対水, その他)		試験結果 直接		試験結果 直接	
異性体 0.3% ダイマー 0.8% アセトン 0.3%		対水 加水分解のため測定不可 対アセトニトリル 10g/L 以上 対酢酸エチル 10g/L 以上					
融点 融点は測定温度範囲 (-100~25℃) に存在しない。		1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 4.8 (HPLC法)*2		審査部会 第68回 19年10月26日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
沸点 測定不可 (190℃以上で分解していると考えられる)		加水分解性 水溶液中で速やかに加水分解するため測定不可		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
蒸気圧 91.3 Pa (25℃, 外挿値)		安定性		判定		判定	
比重				判定		判定	
LD50				備考		備考	
IRチャートの有無 (有) ・ 無				1. 回収率 (水+被験物質)系 93.1% (汚泥+被験物質)系 91.4%		3. 特記事項 ・ 被験物質は試験液中で全量変化し、アセトン(2-0542, K-1746, H17.11.18 (49)良分解)、トリヒドロキシビニルシラン(log Kow = -2.01*3)を生成した。 	
用途				2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構		アセトン (生分解) トリヒドロキシビニルシラン (残留)	
生産量*4 (11年) 製造及び輸入 10~100 t 未満							
試料 購入先							
経済産業公報発表年月日							

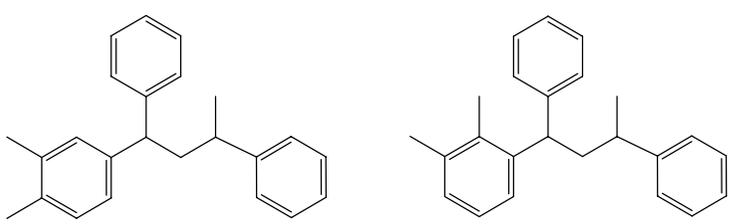
*1 提供者添付資料による。 *2 溶離液：アセトニトリル/精製水 (7/3 V/V) *3 Kowwin v 1.67 による計算値。 *4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K - 1792の類似物質表

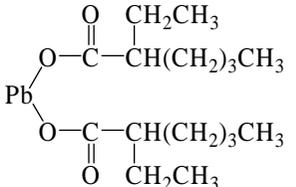
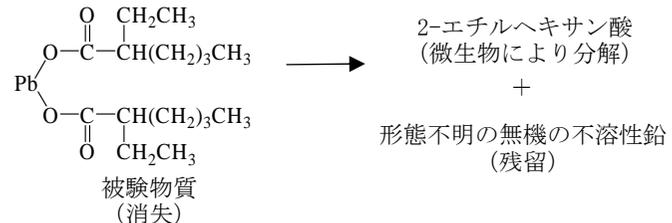
化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ビニルトリメトキシ シラン (2768-02-7)	$\begin{array}{c} \text{OCH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{CO}-\text{Si}-\text{CH}=\text{CH}_2 \\ \\ \text{OCH}_3 \end{array}$	2-2066 (K-1133)	標準(4W) 1999年実施 BOD 60, 56, 56 (57) TOC 59, 60, 61 (60) HPLC 100, 100, 100(100) 〔水中で加水分解し、ビニルトリヒドロキシシランを生成し、残留した。〕	難分解性 (1999)	加水分解のため 測定不可			
3-メルカプトプロピルトリメトキシシラン (4420-74-0)	$\begin{array}{c} \text{OCH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{CO}-\text{Si}-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{SH} \\ \\ \text{OCH}_3 \end{array}$	2-2045 (K-1292)	標準(4W) 1998年実施 BOD 38, 38, 38 (38) TOC 51, 48, 52 (50) HPLC 100, 100, 100(100) 〔水中で加水分解し、3-メルカプトプロピルトリヒドロキシシランを生成し、残留した。〕	難分解性 (1998)	加水分解のため 測定不可			
3-アミノプロピルトリエトキシシラン (919-30-2)	$\begin{array}{c} \text{OCH}_2\text{CH}_3 \\ \\ \text{CH}_3\text{CH}_2\text{O}-\text{Si}-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{NH}_2 \\ \\ \text{OCH}_2\text{CH}_3 \end{array}$	2-2061 (K-1295)	標準(4W) 2000年実施 BOD 54, 52, 55 (54) TOC 63, 64, 65 (64) 〔水中で速やかに加水分解し、3-アミノプロピルトリヒドロキシシランを生成し、残留した。〕	難分解性 (2000)	加水分解のため 測定不可	>1000 (96hr)	2001年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(2 mg/L) : <0.53 2区(0.2mg/L) : <5.4 脂質含有率 開始前 1.62% 終了後 1.63%	高濃縮性 ではない (2001)

K - 1792の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
<p><i>N</i>-(2-アミノエチル)- -アミノプロピル トリメトキシシラン (1760-24-3)</p>	$\begin{array}{c} \text{OCH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{CO}-\text{Si}-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{NHCH}_2\text{CH}_2\text{NH}_2 \\ \\ \text{OCH}_3 \end{array}$	<p>2-2083 (K-1134)</p>	<p>標準(4W) 1995年実施 BOD 23, 26, 28 (26) TOC 39, 38, 39 (38) G C 100, 100, 100(100)</p> <p>〔水中で速やかに加水分解し、<i>N</i>-(アミノエチル)-<i>N</i>-アミノプロピルトリヒドロキシシランを生成し、残留した。〕</p>	<p>難分解性 (1995)</p>				
<p>トリ(イソプロペニ ルオキシ)ビニルシ ラン (15332-99-7)</p>	$\begin{array}{c} \text{CH}_2 \\ \\ \text{H}_3\text{C}-\text{C} \\ \\ \text{O} \\ \\ \text{H}_2\text{C}=\text{CH}-\text{Si}-\text{O}-\text{C}=\text{CH}_2 \\ \quad \\ \text{O} \quad \text{CH}_3 \\ \\ \text{C}-\text{CH}_3 \\ \\ \text{CH}_2 \end{array}$	<p>2-3197 (K-1792)</p>	<p>標準(4W) 2006年実施 BOD 71, 67, 67 (68) G C 100, 100, 100(100)</p> <p>〔水中で加水分解し、トリヒドロキシビニルシランを生成し、残留した。〕</p>		<p>2006年実施 4.8 (HPLC法)</p>			

整理番号 K-1798B (4-0071)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
1-キシリル-1,3-ジフェニルブタン (74921-47-4)		事業対象年度 平成18年度		事業対象年度 平成 年度		契約 年 月 日	
		試験期間 19. 2.14~19. 5.17		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  4-(1,3-diphenylbutyl)-1,2-dimethylbenzene 分子式 C ₂₄ H ₂₆ 3-(1,3-diphenylbutyl)-1,2-dimethylbenzene 分子量 314.46		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L		被験物質 mg/L 汚泥 mg/L		被験物質 mg/L 汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果		試験結果		試験結果	
純度*1 93%		外観 粘調, 無色透明		間接		間接	
不純物 (物質名, 含有率) *1 不明物 1: 3%, 不明物 2: 4%, C ₂₄ H ₂₆ で構造は不明		溶解度 (対水, その他) 対水 不溶 アセトン 可溶 ジメチルスルホキシド 可溶		審査部会 第 68 回 19年10月26日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
融点*1 0℃以下		判定		判定		判定	
沸点*1 300℃以上		備考 1. 回収率 (汚泥+被験物質) 系 100% 2. 実施機関 株式会社 三菱化学安全科学研究所		備考		備考	
密度				1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 7.86*2			
LD50				安定性 -			
チャートの有無 (有) ・ 無							
用途							
生産量 (年)							
試料							
経済産業公報発表年月日							

*1 提供先添付資料による。*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-1807 (NEDO 383, 2-0615)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-エチルヘキサン酸鉛塩	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
(301-08-6)	試験期間 19. 1. 17~19. 3. 19	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₁₆ H ₃₀ O ₄ Pb 分子量 493.61	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
純度*1 99.3%	外観 粘性液体	試験結果 間接	試験結果 間接
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.7%は不明	溶解度(対水, その他) 対水 加水分解のため測定不可 対アセトニトリル 1 g/L 以下 対メタノール 1 g/L 以上 対クロロホルム 10 g/L 以上	試験結果 直接	試験結果 直接
融点 融点は測定範囲(-100~50℃)に存在しない	1-オクタノール/水分配係数	審査部会 第68回	審査部会 第 回
沸点 測定不可(約300℃で黒褐色に変化)	適用外物質(金属塩)	19年10月26日開催	年月日開催
蒸気圧 133Pa 以下(80℃)	加水分解性	備考	3. 特記事項
密度*2 1.56 g/cm ³ (20℃)	速やかに加水分解するため加水分解速度定数の測定不可	1. *被験物質は試験液中で速やかに加水分解し、理論量の2-エチルヘキサン酸が生成することを確認した。このため被験物質を試験液から回収することができず、被験物質の分析が実施できなかった。従って、被験物質の直接分析による分解度は算出不可能であった。	
LD50	解離定数 解離基なし		
IRチャートの有無 (有) ・ 無		2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	2-エチルヘキサン酸 (微生物により分解) + 形態不明の無機の不溶性鉛 (残留)
用途*3 有機化学製品用(洗剤等、合成樹脂、シリング剤、ゴム製品)、 添加剤(油用、樹脂用、ゴム用)、その他製品用(触媒)			・被験物質は水中で速やかに変化し、(汚泥+被験物質)系において、2-エチルヘキサン酸(2-0608)及び不溶性鉛(水にも有機溶媒にも溶解しない無機の鉛)が生成した。2-エチルヘキサン酸は微生物により分解され、不溶性鉛は試験液中に残留した。また、(水+被験物質)系において、2-エチルヘキサン酸と水溶性鉛を生成し、残留した。
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 10,000~100,000 t 未満			
試料			
経済産業公報発表年月日	年月日		

*1 提供者添付資料の鉛含有率(41.70%)より算出。 *2 提供者のMSDS(1/24/2007)による。

*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。